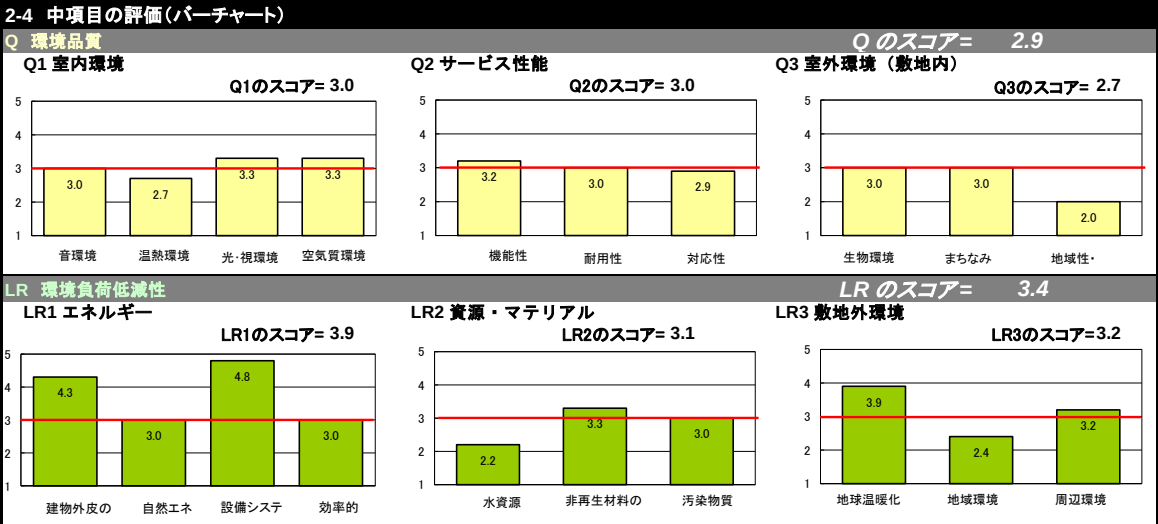
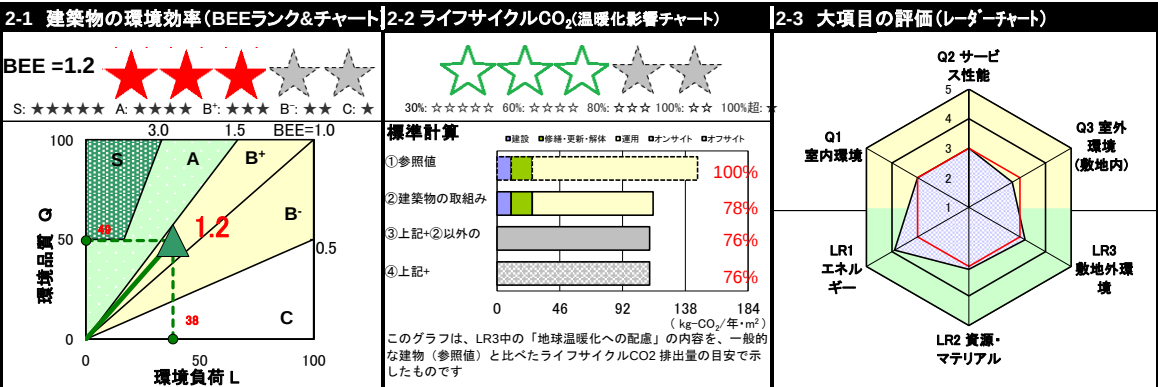


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊田市元城町4丁目有料老人ホーム	階数	地下0階、地上7階
建設地	愛知県豊田市元城町4丁目34番、35番、58番	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	80 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年12月10日
敷地面積	1,959 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社中部流通設計一部建築士事務所 橋通 智洋
建築面積	910 m ²	確認日	2024年12月10日
延床面積	4,579 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社中部流通設計一部建築士事務所 橋通 智洋



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.9	3.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.2	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
【仮称】豊田市元城町4丁目有料老人ホーム

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.9		
Q1 室内環境					0.40		-	3.0		
1 音環境			0.1	3.0	0.15	3.0	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル			3.0	3.0	0.40		3.0	0.40		
1.2 遮音			0.4	3.0	0.40		3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			-	3.0	0.40		3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.60		3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-		3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-		3.0	0.20		
1.3 吸音			-	3.0	0.20		3.0	0.20		
2 温熱環境			0.3	3.0	0.35	2.6	2.6	1.00	2.7	
2.1 室温制御			0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50		
1 室温			3.0	3.0	0.38		3.0	0.57		
2 外皮性能			3.0	3.0	0.25		3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性			3.0	3.0	0.38			-		
2.2 湿度制御			3.0	3.0	0.20		1.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	3.0	0.30		3.0	0.30		
3 光・視環境			0.2	3.3	0.25	3.3	3.3	1.00	3.3	
3.1 昼光利用			0.3	4.2	0.30	4.2	4.2	0.30		
1 昼光率			3.0	5.0	0.60		5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-			-		
3 昼光利用設備			3.0	3.0	0.40		3.0	0.40		
3.2 グレア対策			0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30		
1 昼光制御			5.0	3.0	1.00		3.0	1.00		
3.3 照度			3.0	3.0	0.15		3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	3.0	0.25		3.0	0.25		
4 空気質環境			0.2	3.4	0.25	3.2	3.2	1.00	3.3	
4.1 発生源対策			0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	3.0	1.00		3.0	1.00		
4.2 換気			0.3	3.0	0.30	3.6	3.6	0.38		
1 換気量			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
2 自然換気性能			3.0	-	-		5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
4.3 運用管理			0.2	5.0	0.20	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-			-		
2 喫煙の制御			3.0	5.0	1.00			-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	-	3.0	
1 機能性			0.4	2.5	0.40	3.8	3.8	1.00	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ			0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60		
1 広さ・収納性			3.0	-	-		5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-			-		
3 バリアフリー計画			3.0	3.0	1.00			-		
1.2 心理性・快適性			0.3	1.0	0.30	2.0	2.0	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-		3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-			-		
3 内装計画			3.0	1.0	1.00		1.0	0.50		
1.3 維持管理			0.3	3.5	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	4.0	0.50			-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			-		
2 耐用性・信頼性			0.3	3.0	0.31	-	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.4	3.0	0.48			-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	3.0	0.80			-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.20			-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	3.3	0.33			-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23			-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09			-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08			-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.15			-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			-		
2.4 信頼性			0.1	2.6	0.19	-		-		
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20			-		
2 給排水・衛生設備			3.0	2.0	0.20			-		
3 電気設備			3.0	3.0	0.20			-		
4 機械・配管支持方法			3.0	3.0	0.20			-		
5 通信・情報設備			3.0	2.0	0.20			-		

3 対応性・更新性			0.2	3.2	0.29	2.8	2.8	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			0.3	3.4	0.31	2.6	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			-	3.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		(共用部分)壁長さ比率:0.2	3.0	4.0	0.40		2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	3.2	0.38		-	-	
1 空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11		-	-	
4 通信配線の更新性		ケーブルラック	3.0	5.0	0.11		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出	独自③		-	3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④		-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30		-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		-	1.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-			-	3.4
LR1 エネルギー					-			-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.87	3.0	4.3	0.30		-	-	4.3
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.20		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.71	3.0	4.8	0.30		-	-	4.8
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル					-			-	3.1
1 水資源保護			0.1	2.2	0.15		-	-	2.2
1.1 節水			3.0	1.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.3	0.63		-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②		-	3.0	0.21		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	床タイル「ロイヤルストーン」床シート「ストログ」	3.0	4.0	0.21		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	3.0	4.0	0.25		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤			-	-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境					-			-	3.2
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率76%	-	3.9	0.33		-	-	3.9
2 地域環境への配慮			0.3	2.4	0.33		-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制	独自	適切な量の自転車置場、駐車スペースの確保	-	4.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.2	0.33		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音	独自		-	3.0	0.33		-	-	
2 振動	独自		-	3.0	0.33		-	-	
3 悪臭			-	3.0	0.33		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-		-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.4	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外広告物照明無し	-	5.0	0.70		-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート

【仮称】豊田市元城町4丁目有料老人ホーム

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点		全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10	3.2	
② 資源の有効活用					
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09		
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.09		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19		
③ 敷地内の緑化					3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:28.6%/建物緑化:0%	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 豊田市元城町4丁目有料老人ホーム

計画上の配慮事項	
総合	環境に配慮した資源を使い、建物居住者の室内環境に配慮するとともに、敷地内の緑化計画などの地球環境への考慮をしている。
Q1 室内環境	居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な昼光利用がされている。
Q2 サービス性能	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をしている。
Q3 室外環境(敷地内)	可能な限り緑地を配し、敷地内の環境にも配慮している。
LR1 エネルギー	BPI=0.87、BEI=0.71。 太陽光発電設備の設置を計画している。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を採用するなど省資源に努めている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率＝76%
その他	特に無し。